

2023年6月6日

各位

会社名	株式会社エクサウィザーズ
代表者名	代表取締役社長 春田 真 (コード番号：4259 東証グロース)
問合せ先	コーポレート統括部長 前川 智明 (Tel: 03-6453-0510)

ChatGPT・生成 AI 活用の研修サービスを一挙開講

当社は、ChatGPT などの生成 AI サービスを業務や経営で本格的に活用するための企業向け研修サービスを、本日 6 月 6 日から受付開始します。業務で活用できるプロンプトの基礎演習、生成 AI を事業や組織で活用する経営・管理層向け、当社生成 AI サービス利用者向け、の 3 つの研修サービスを提供し、顧客企業における生成 AI の活用や事業変革をあらゆる側面から支援します。

当社は AI の利活用により、日本企業全体の生産性向上のためのサービスやプロダクトを提供し、それらを通じて社会課題の解決を目指しています。

1. 事業の趣旨

当社はセキュリティやコンプライアンスに配慮し安心して利用できる企業向け ChatGPT サービス「**exaBase 生成 AI powered by GPT-4**（以下 **exaBase 生成 AI**）」を提供しています。一方、AI のソリューションにおいては、金融/保険、消費財、製造業/産業材、ヘルスケア、通信/インフラ、エネルギー、人材、物流など様々な業界の大手企業の顧客を有しております。また HR（人事）向けでは、DX 人材発掘・育成サービスの「**exaBase DX アセスメント&ラーニング**」を提供し、既に 900 社以上（6 万人以上）が利用しております。

これらの当社の強みを生かして、現場の各種業務と経営の両面から生成 AI を活用するための研修サービスを開発しました。

2. 新たな事業の概要

今回、提供を開始する生成 AI の研修サービスは下記の 3 種です。

① 「プロンプトエンジニアリング基礎研修」

- ・ 対象：生成 AI を業務に活用する初期レベル
- ・ ChatGPT などの生成 AI を「知らない」から「少し使える」といった初期段階の利用者に対し、生成 AI の「利用を習慣化」「使い方を教えられる」といった状態まで引き上げることを目指します。活用を定着させるため、具体的な場面を想定して、入力命令となるプロンプトを記述しながらオンラインの講義を進めます。さらに生成結果をもとにプロンプトの修正を繰り返して精度を上げていきます。こうして命令を最適化する「プロンプトエンジニアリング」のレベルアップを図ります。
- ・ 研修サービスは、以下の内容で構成しており、講師によるオンラインでのライブ配信でご提供します。なお、セキュリティに配慮した当社の法人向け生成 AI サービス **exaBase 生成 AI** の研修用アカウントを発行し、研修中にご利用いただきます。
 - ✓ 生成 AI の基礎：仕組みや動向、利用上の注意、プロンプトについて基礎知識レベルの内容を

説明します

- ✓ 職種別活用事例：幅広い職種における注目の活用例を、当社事例も交えてご紹介します
- ✓ 実演と演習：exaBase 生成 AI を利用して、各参加者がプロンプトを作成して理解を深めていきます

② 「経営・管理層向け生成 AI 活用研修」

- ・ 対象：生成 AI を経営に活かす経営・管理層
- ・ 生成 AI について、その技術背景や先進的な活用事例、サービスやテクノロジーの導入方法、セキュリティやコンプライアンス面での課題と解決策などを学んだうえで、以下の 3 つの視点から生成 AI を経営や管理に活用するための要諦を習得していただきます。
 - ✓ 各事業での活用：各事業や業務における生成 AI を活用した生産性向上、新規事業での活用
 - ✓ 技術動向：個別各社に特化した言語モデルなどのテクノロジー活用による差異化
 - ✓ 組織・社内人材：生成 AI に対応した人材のリスキリング

③ 「生成 AI 魔法学校～実践チュートリアル」

- ・ 対象：exaBase 生成 AI の有料ユーザー全員
- ・ 本研修サービスは当社の生成 AI サービス exaBase 生成 AI をご使用中の有料ユーザーが、追加料金なしで Web サイトから利用できます。生成 AI についての深い理解を持ったうえで、業務の生産性向上から事業開発のためのアイデア検討まで、実際にプロンプトを入力しながら実践力の向上を図ります。

3. 事業の開始期日および売上計上セグメント

2023 年 6 月 6 日にサービスの受付を開始し、本事業の売上高は AI プロダクト事業に計上されます。

4. 当該事業開始のために特別に支出する金額及び内容

現時点において特別に支出する予定はなく、通常の事業運営の中で進めてまいります。

5. 今後の見通し

現在精査中ですが、中長期的に当社の業績向上に資するものと考えています。合理的な算定が可能となり、また業績に重要な影響を与えると判明した場合には、速やかに開示します。

(参考) 当期連結業績予想 (2023 年 5 月 11 日公表分) 及び前期連結実績

(百万円)

	連結売上高	連結営業利益
当期連結業績予想 (2024 年 3 月期)	7,000	△370
前期連結実績 (2023 年 3 月期)	5,591	△378

以 上